

事業所名

放課後等デイサービス・児童発達支援 ひなたきっず

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人(事業所)理念		ひとりひとりに合った様々な療育や遊びを展開し、子どもたちの豊かな心を育みます。													
支援方針		・ひとりひとりに寄り添う支援を提供し『できた』を積み重ね、大きな自信に繋げていきます。 ・療育や遊びを通じて子どもたちの興味の幅を広げていきます。 ・他者との関わり合いの中で、コミュニケーション力を身に付けていきます。													
営業時間		平日	11	時	00	分	18	時	00	分	まで	送迎実施の有無	ありなし		
		土曜日・長期休暇	10		00	から	17		15						
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・登所後の体調観察検温やケガ等のチェック ・手洗い、消毒の実施 ・衣服、靴の着脱、トイレトレーニング等の身辺自立の強化 ・クッキング、オヤツ作り療育で様々な食材や器具に触れる事で食への興味を広げる ・見通しが持てる様、視覚的支援(絵カード等)を取り入れる													
	運動・感覚	・運動を取り入れた療育(サーキット遊びや伝承遊び等)を行い、体幹を鍛える ・椅子に座る際しっかりと地に足が着く様足置き台を使用し、姿勢を安定させる ・散歩や公園遊び、夏季にはプール遊びにて体を動かし、体幹や筋力の強化に繋げる													
	認知・行動	・ひとりひとりに合った訓練を取り入れる言語聴覚士との訓練 ・型はめや、ブロックの色分け、パズル等の訓練を行い、色彩の認知に繋げる言語聴覚士との訓練 ・絵カードを使用し、視覚から認知に繋げる言語聴覚士との訓練 ・感触遊びを取り入れ、様々な素材に触れる体験を通し、匂いや音を楽しみながら五感を育む ・療育や訓練を行う中で座って取り組む時間を少しずつ伸ばし集中力を身に付ける													
	言語コミュニケーション	・ひとりひとりに合った訓練を取り入れる言語聴覚士との訓練 ・口の体操、模倣運動を行う言語聴覚士との訓練 ・絵カードを使用し、復唱を促す言語聴覚士との訓練 ・動作絵カードや物品カードを使用し、語彙を増やす言語聴覚士との訓練 ・ジェスチャーを取り入れ、気持ちや要求を伝えられるようになる													
	人間関係社会性	・様々な遊びや療育に取り組む中で少しずつ興味の幅を広げる ・取り組みを通して、少しずつ周囲に視点を向け、ひとり遊びから協同遊びへと繋げていく ・発達に応じたSTを取り入れ、日常生活へ活かせるよう支援します													
家族支援		療育の内容やお子様の通所時の様子をご家族様に説明し、課題の進行状況やご質問・ご相談を受け、意識の一致のため情報を共有する										移行支援		・各関係機関との情報共有	
地域支援・地域連携		・担当者会議への参加 ・他の事業所のお子様たちとの交流会の実施										職員の質の向上		・職員会議 ・事業所内研修 ・連絡会研修の参加	
主な行事等		・季節毎の行事の開催(プール遊び・ハロウィンパーティ・クリスマス会等・消防車見学(消防訓練)・避難訓練													